

平成27年6月の大阪森林便り

北米丸太が下落 — 5月積み対日価格 4か月連続で



北米産丸太の対日価格が4か月連続で下落しました。5月積み対日輸出価格は、前月と比べて3.7%下がりました。北米では中国の住宅需要に対応するため原木の伐採量を増やしています。需要の伸びを上回る供給量があったため対日価格も下がりました。

(2015年5月13日 日本経済新聞記事から抜粋)

南洋材丸太が5か月ぶり上昇 — 対日価格



南洋材丸太の対日価格が5か月ぶりに上昇しました。違法伐採の取り締まりを強化しているマレーシアでは、雨期が明けても丸太の出荷量が増えません。丸太生産業者は出荷量が増えないことを理由に、対日価格の引き上げを求めています。インド向けの需要回復も値上げの理由となっています。

(2015年5月16日 日本経済新聞記事から抜粋)

「ひょうご木づかい王国」建国 — 神戸ハーバーランド

「ひょうご木づかい王国学校」開校



神戸ハーバーランドに「ひょうご木づかい王国」が建国、王国内に「ひょうご木づかい王国学校」が開校しました。兵庫県産木材の利用PRなど様々な取り組みを行い、木づかいのある暮らしを広く県民に発信します。10月までは林野庁の補助事業、来年の3月までは地方創生緊急対策事業。

(2015年5月20日東洋木材新聞記事から抜粋)



住宅用木材の下落続く 国産合板、前週比1%安



住宅用木材の値下がりが続いています。国産針葉樹合板は前週と比べ1.2%安。

合板の4月末の在庫量は、1か月分の需要を大きく上回っています。

集成管柱は前月と比べ1.6%安。梁用集成平角も1.7%安。

4月の製材品出荷量は前年同月比でマイナス4.2%と、4か月連続で減少幅が知事まりました。

(2015年5月26日 日本経済新聞記事から抜粋)



今月の木の話

年輪の用語

早材（夏目とも言います。）は、春から夏にかけてできた木の細胞の壁です。早材の細胞壁は薄いので、色が薄くなります。

晩材（冬目とも言います。）は、夏から秋にかけてできた細胞壁です。晩材の細胞壁は厚く、色が濃くなります。この早材と晩材が1ペアとなって1年輪となります。

冬の間、樹木は大きくは成長しません。なので、冬目と言っても秋から冬にかけてできたものではありません。

(日刊木材新聞社発行「今さら人には聞けない木のはなし」より抜粋)

